

2027年卒

3月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリタス就活 学生モニター2027 調査結果 (2026年3月発行)

2027年卒の採用広報が3月1日に解禁された。企業の採用意欲の高い状態が続く中、学生たちはどのように活動を進めているのだろうか。キャリタス就活・学生モニターを対象に、解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行った。

1. 3月1日時点の内定^(※)状況

- 内定率は51.7%。前年同期実績(47.7%)を4ポイント上回る
- 広報解禁のタイミングで5割を上回るのは初めて

2. エントリー状況

- エントリー社数の平均は17.6社。前年同期より約2社減。面接経験者は早くも8割

3. 就職活動解禁を迎えた心境

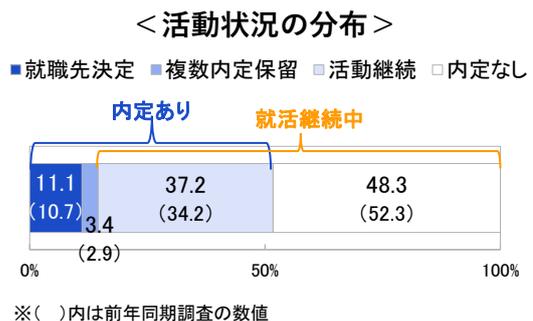
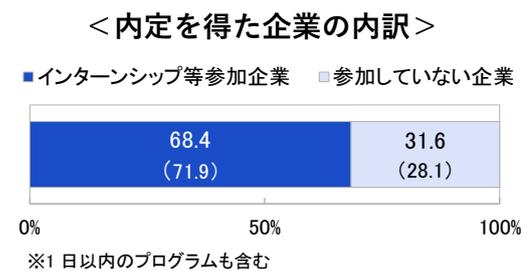
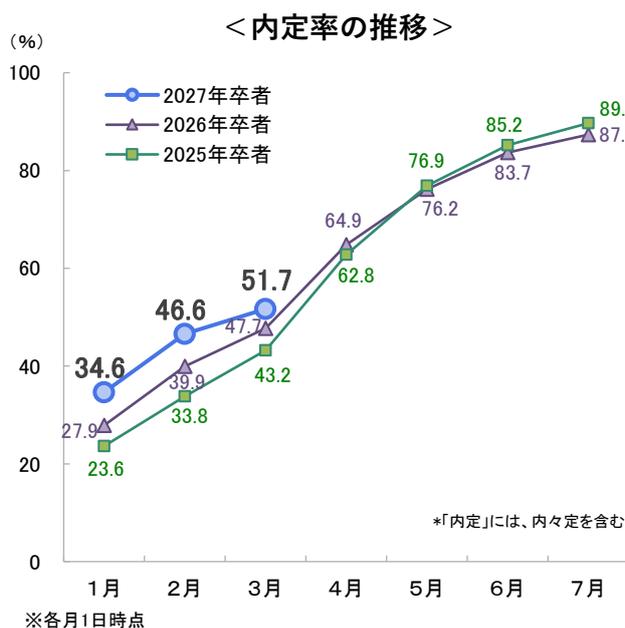
- 解禁は「いまさらという感じ」が6割超(60.9%)。「本格的に始まった」は3割(33.8%)

※「内定」には、内々定を含む

1. 3月1日時点の内定状況

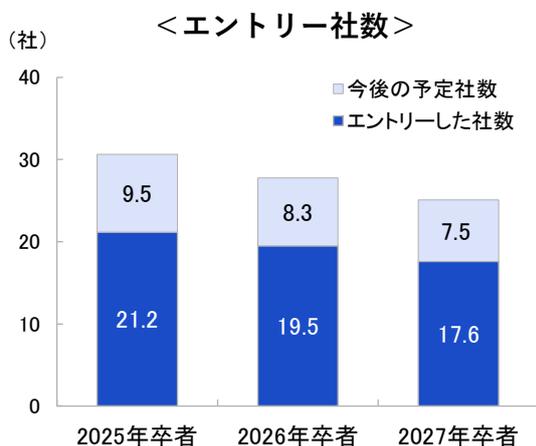
3月1日で内定を得ている学生は全体の51.7%。前回調査(46.6%、2月調査)からの1カ月間に5.1ポイント上昇し、就活モニターの半数以上が早くも内定を手にしていることがわかった。前年同期実績(47.7%)を4ポイント上回っており、3月の就活解禁のタイミングで内定率が5割を超えるのは初めて。現在の採用日程ルールが11年目を数える中で、早期化が一層進んでいる様子が見て取れる。現時点で内定を得た企業の7割近く(68.4%)が、インターンシップ等のプログラムに参加していた企業。

内定取得者の大半は内定を保持しながら就職活動を継続しており、就活終了者(就職先決定)はモニター全体の11.1%。多くの学生にとって本番はこれからだ。

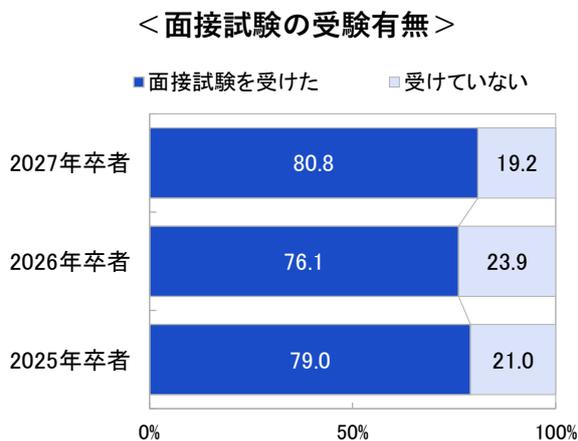


2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は17.6社で、前年同期実績(19.5社)を1.9社下回った。今後のエントリー予定社数も前年調査より少ない(8.3社→7.5社)。調査時点ですでに本選考の面接試験を受けた経験を持つ学生が8割を超えており(80.8%)、早い時期に接点を持った企業の選考が進んでいることで、新しい企業に関心が向きづらくなっているとみられる。



※各年3月調査

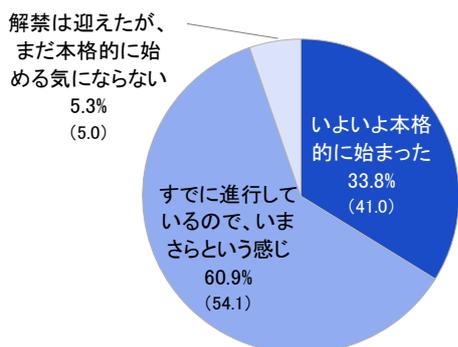


※各年3月調査

3. 就職活動解禁を迎えた心境

3月1日の「解禁日」を迎えた心境を尋ねた。自分の気持ちに近いものを選んでもらうと、「いよいよ本格的に始まった」と回答した人の割合は前年調査より大きく減少(41.0%→33.8%)。「いまさらという感じ」が増加し、6割を超えた(60.9%)。内定率が半数を超える状況下で、解禁日の存在感はますます薄らいでいるようだ。学生からは早期化の進行を実感する声が多く寄せられた。

<就職活動解禁を迎えた気持ち>



※()内は前年同期調査の数値

■学生の声

- 早期化が進んできて、就活解禁したばかりなのに、焦りがある。 <文系女子>
- 解禁日に既に応募が終了している企業があることに対して不満である。 <理系男子>
- 出遅れた人はどうすればいいのかわからない。 <文系男子>
- 本選考が一気に始まった。学校も始まってくるので学業との両立も結構不安。 <文系女子>
- 早期選考から就活を行ってきたが、あと少しもうひと踏ん張りして頑張ろうと思う。 <文系男子>
- 本格的に就活が始まったため、より一層気合いをいれて取り組みたい。 <理系女子>

調査概要

- 調査対象：2027年3月に卒業予定の大学3年生(理系は大学院修士課程1年生含む)
- 回答者数：1,033人(文系男子205人、文系女子486人、理系男子183人、理系女子159人)
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2026年3月1日~5日
- サンプリング：キャリアタス就活学生モニター2027
- 調査実施：株式会社キャリアタス/キャリアタスリサーチ